

未来貢献

校長だより 第3号
令和7年5月19日発行

「凡事徹底」とは？

校舎内を歩いていると、つい掲示物に目を向けてしまいます。各教室の背面の壁には、生徒たちがそれぞれの思いを込めて書いた色紙が掲示されています。「文武両道」や「有言実行」など、自分の好きな言葉が並び、どれも個性が感じられます。その中でも、特に印象に残ったのが「凡事徹底」という言葉でした。1年生の中だけで10名以上の生徒がこの言葉を選んでおり、その多さに驚くとともに、難しい言葉をよく知っているものだと感心しました。聞くと、ある生徒が「小学校6年生の担任の先生がよく使っていた言葉なんです。」と教えてくれました。「凡事徹底」という言葉は、私も近年よく耳にするようになりました。今回は、この言葉について少しお話ししたいと思います。

「凡事徹底」とは、「なんでもないような当たり前のことを徹底的に行うこと」、あるいは「当たり前のことを、他人の追従を許さないほど極めること」を意味します。この言葉をインターネットで調べると、ある人物の名前が挙がります。それは、野球界のレジェンド、イチローさんです。あるコーチが、選手時代のイチローさんに「これだけはやったと言える練習はあるか」と尋ねたところ、彼はこう答えたそうです。「僕は高校生活の3年間、毎日寝る前に10分間、必ず素振りをしました。1日10分、365日、それを3年間続けました。これが、誰よりもやった練習です。」1日10分の素振りなら、誰にでもできそうなことです。しかし、それを3年間毎日欠かさず続けることは、容易ではありません。この継続こそが、まさに「凡事徹底」の実践であり、イチローさんがプロ野球やメジャーリーグで活躍するための基礎・基本を築いたのです。彼の名言のひとつに「小さいことを重ねることが、とんでもないところへ行くただひとつの道だ」という言葉があります。まさに「凡事徹底」の精神を表しています。

皆さんも、日々の生活の中で、“何気ない当たり前のこと”をしっかりと行うことを意識してみてください。適切な目標設定がとても大切です。たとえば、授業への取り組み、あいさつ、その他さまざまな活動など、すべてが「凡事徹底」のチャンスです。今の自分の行動を見つめ直し、未来への一歩としましょう。

また、ご家庭でも「わが家における『当たり前』とは何か？」を話題にしていただき、その『当たり前』をお子様が自然に実践できるよう、温かいご支援をいただければ幸いです。

